

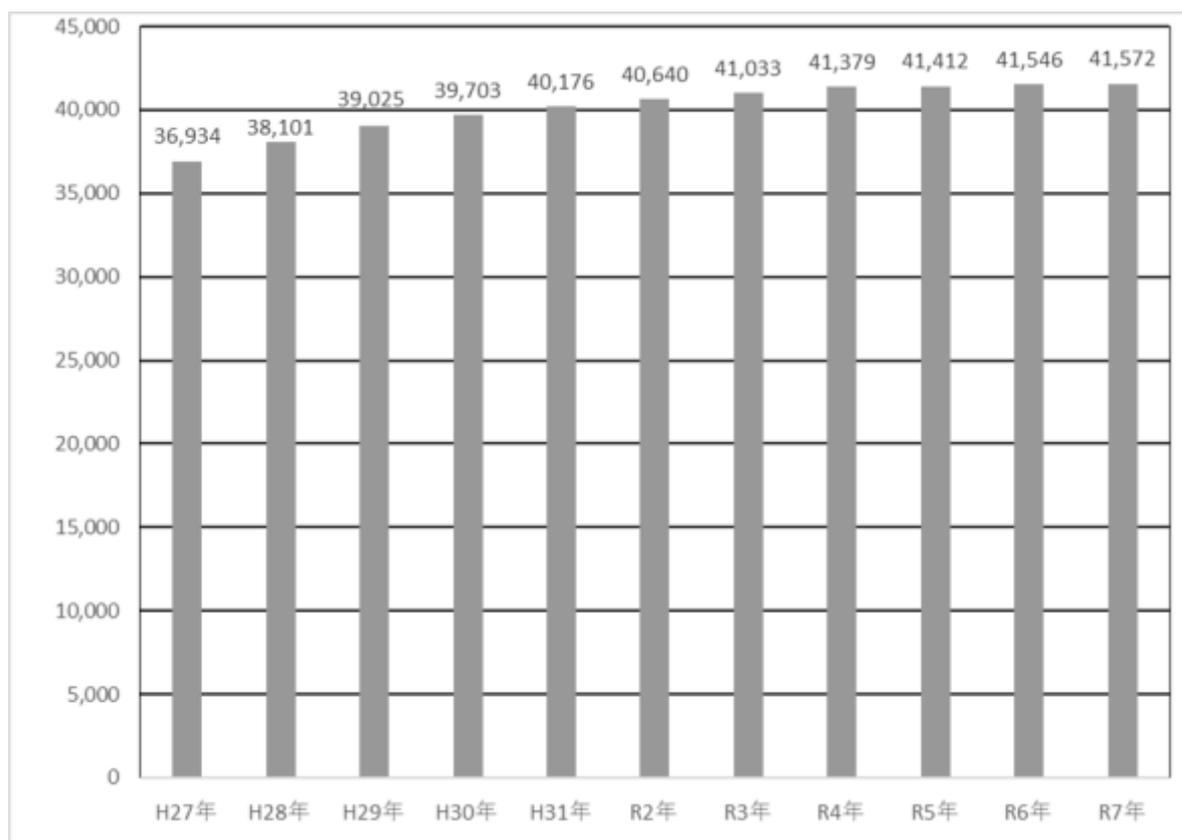
高齢者の福祉

現在、わが国では、本格的な高齢社会を迎え、今後もますます高齢者人口の増加が見込まれています。このような中、高齢者の方々が、住み慣れた地域で安心して暮らすために市民と行政が連携、協働を図りながら自らの健康づくりに取り組み、助け合いの精神を持ち、思いやりのある福祉のまちづくりを目指して行くことが大切です。

本市においては、「ひたちなか しあわせプラン21」に基づいて、介護サービス基盤の整備や運動機能向上や栄養改善などを進める介護予防事業を実施するとともに、地域においても、地域包括支援センターの活用によりきめ細かな福祉や保健サービスの提供に努め、高齢者をはじめ、誰もが生きがいをもって安心して暮らせる地域社会の実現に努めています。

1. 高齢者の状況

高齢者（65歳以上）の人口推移



※各年3月31日現在
※住基人口

(1) 人口構成 (各年3月31日現在)

単位：人 (%)

年度 \ 区分	総人口	65歳以上	75歳以上
H28	159,188	38,101 (23.9)	17,548 (11.0)
H29	159,326	39,025 (24.5)	18,512 (11.6)
H30	159,053	39,703 (25.0)	19,306 (12.1)
H31	158,675	40,176 (25.3)	20,272 (12.8)
R2	158,225	40,640 (25.7)	20,863 (13.2)
R3	157,672	41,033 (26.0)	21,133 (13.4)
R4	156,779	41,379 (26.4)	21,764 (13.9)
R5	156,144	41,412 (26.5)	22,674 (14.5)
R6	155,188	41,546 (26.8)	23,396 (15.1)
R7	154,185	41,572 (27.0)	24,129 (15.6)

(2) 年齢別人口

単位：人

区分	男	女	計 (A)	比率(A)/(B) (%)
65歳～69歳	4,087	4,248	8,335	5.4
70～74	4,250	4,858	9,108	5.9
75～79	4,029	5,151	9,180	6.0
80～84	3,381	4,256	7,637	5.0
85～89	1,971	2,670	4,641	3.0
90歳以上	805	1,866	2,671	1.7
計	18,523	23,049	41,572	27.0
総人口	77,793	76,392	(B) 154,185	

(3) ひとり暮らし・ねたきり高齢者等の推移

単位：人

区分 \ 年度	R2	R3	R4	R5	R6
ひとり暮らし	4,925	5,165	5,332	5,490	5,761
ねたきり	1,102	1,102	1,223	1,216	1,202

ひとり暮らし・・・民生委員の協力による実態調査

ねたきり・・・要介護3以上で在宅の方(介護保険事業状況報告3月分より)

2. 高齢者福祉対策

(1) 高齢者クラブの組織状況

会員数，加入率については，年々低下している状況です。高齢者の豊かな経験と知識を活かしながら健康づくりや仲間づくりを行っています。

区 分 \ 年 度	R2	R3	R4	R5	R6
単位クラブ数	65	65	63	61	62
会員数（人）	3,481	3,294	3,082	2,767	2,624
加入率（％）	7.0	6.5	6.1	5.4	5.1
60歳以上人口	49,681	50,123	50,412	50,685	51,026

(2) 小地域ネットワーク事業

ひとり暮らし高齢者等に対し，ご近所の方々に協力員となってもらい，日常的な見守りや声かけ等を行うことで，地域で孤立することなく安心して生活できるような地域づくりを推進することを目的として実施しています。

区分 \ 年度	R2	R3	R4	R5	R6
新規ネット数	82	76	32	67	44
解除ネット数	97	127	53	152	82
組織ネット数	843	792	771	686	648

(3) 緊急通報システム事業

70歳以上のひとり暮らし高齢者の自宅に，事業者が運営するコールセンターに通報できる専用の端末機を設置し，緊急ボタンやペンダントを押すことで急病など緊急時に素早く助けを受けられる仕組みです。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
設置台数	253	285	325	365	401

(4) 愛の定期便事業（ひとり暮らし高齢者）

安否確認の必要な70歳以上のひとり暮らしの高齢者等に，乳製品を隔日配達し，安否確認を行っています。

年 度	利用者数	配達延べ本数	
		ヤクルト	牛 乳
R2	631人	121,302本	30,146本
R3	639人	119,612本	29,707本
R4	602人	120,893本	29,629本
R5	593人	111,723本	28,095本
R6	558人	107,224本	26,983本

(5) ひとり暮らしの高齢者などの配食サービス事業

70歳以上のひとり暮らし高齢者と高齢者夫妻の方に、栄養のバランスの取れた食事(夕食のみ)を月曜から金曜日までのうち、申請者の希望で週3～5日配達しています。

○利用状況

年 度	内 訳	配食日数	利用人数	配達食数
R2	合 計	241 日	148 人	20,851 食
	月平均	20.1 日	—	1,738 食
R3	合 計	242 日	151 人	19,410 食
	月平均	20.2 日	—	1,618 食
R4	合 計	241 日	145 人	19,068 食
	月平均	20.1 日	—	1,589 食
R5	合 計	241 日	167 人	19,537 食
	月平均	20.1 日	—	1,628 食
R6	合 計	243 日	126 人	22,033 食
	月平均	20.3 日	—	1,836 食

(6) 在宅ねたきり高齢者等介護慰労金支給事業

昭和61年度から、在宅のねたきり高齢者、認知症高齢者、身体障害者及び知的障害者等を常時介護している人に対し、介護慰労金を支給しています。

1) 介護慰労金の額

支給対象者	支給額
①介護保険の要介護認定が3,4,5に該当する人のうち、高齢者及び介護者が市民税非課税世帯の介護者	年額 24,000円 (下記②に該当する者は除く)
②介護保険の要介護認定が4,5(相当を含む)に該当する人のうち、高齢者及び介護者が市民税非課税世帯であり、かつ1年間介護サービスを受けない人の介護者	年額100,000円
③65歳未満のねたきりの障害者の介護者	年額 36,000円

2) 介護慰労金の支給状況

年 度	支 給 者 数		
	ねたきり等高齢者	ねたきり等障害者	計
R2	46 人	10 人	56 人
R3	42 人	9 人	51 人
R4	44 人	8 人	52 人
R5	43 人	11 人	54 人
R6	40 人	13 人	53 人

(7) 福祉電話の活用

ひとり暮らしの高齢者等及び身体障害者で、電話を個人で設置できない世帯に貸与するとともに、安否の確認、相談に応じています。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
利用台数	15 台	12 台	11 台	12 台	8 台

(8) 高齢者住宅改修補助事業（平成28年度開始事業）

介護予防・生活支援サービス事業対象者で、市税を滞納していない方を対象に、介護予防及び住宅環境整備のため行う小規模な住宅改修に対して、補助対象経費（限度額10万円）の一部（4分の3、3分の2または2分の1）を補助しています。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
件 数	2 件	6 件	11 件	5 件	3 件
補助額	113,000 円	409,000 円	662,000 円	375,000 円	194,000 円

(9) 敬老会

多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝い、あわせて高齢者福祉の増進を図るため、敬老祝金及び敬老祝品を交付するとともに、敬老会を実施している地域の自治組織等に対し、補助金を交付しています。

1) 敬老祝金支給状況

年 度 \ 年齢・祝金	77歳 10,000円	88歳 20,000円	100歳 50,000円	合 計
R2	1,987人 19,870,000円	724人 14,480,000円	49人 2,450,000円	2,760人 36,800,000円
R3	1,628人 16,280,000円	751人 15,020,000円	41人 2,050,000円	2,420人 33,350,000円
R4	1,352人 13,520,000円	821人 16,420,000円	51人 2,550,000円	2,224人 32,490,000円
R5	1,723人 17,230,000円	891人 17,820,000円	47人 2,350,000円	2,661人 37,400,000円
年 度 \ 年齢・祝金	77歳 5,000円	88歳 10,000円	100歳 50,000円	合 計
R6	2,103人 10,515,000円	820人 8,200,000円	38人 1,900,000円	2,961人 20,615,000円

2) 敬老祝品配付状況（令和6年度より敬老会補助金より分離）

年 度	人 数	金 額
R6	15,764人	15,764,000円

3) 敬老会補助金支給状況

年 度	人 数	金 額
R2	20,127人	57,397,042円
R3	20,017人	31,207,380円
R4	20,793人	32,955,545円
R5	21,009人	36,981,222円
R6	2,220人	10,466,193円

※R6年度から80歳以上の敬老会出席者数に応じた補助金にしたため

(10) 在宅高齢者短期保護事業（ショートステイ）

介護保険法に規定する短期入所生活介護及び短期入所療養介護を利用することができないとき、市単独事業として緊急で必要がある高齢者に対しサービスの提供を行っています。利

用できる日数は、6月間に21日以内です。(表4.2-10)

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
実利用人数	0人	0人	0人	0人	2人
延利用日数	0日	0日	0日	0日	38日

(11) 地域包括支援センター（おとしより相談センター）

高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点として、平成18年4月に地域包括支援センターが設置されました。平成19年度に2か所、平成27年9月に1か所、令和2年4月に1か所、令和6年10月に1か所を増設し、社会福祉法人及び医療法人（6法人）に運営を委託しています。

地域包括支援センターでは、主に①総合相談支援業務②権利擁護業務③包括的・継続的ケアマネジメント業務の包括的支援事業及び予防給付・総合事業のケアマネジメント業務を行っています。

○総合相談支援業務の実績

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
総合相談支援件数	8,889	10,057	10,734	12,639	12,534

(12) 介護予防・日常生活支援総合事業（新総合事業・平成27年10月開始）

介護予防・日常生活支援総合事業のうち、「介護予防・生活支援サービス事業」は、要支援者および介護予防・生活支援サービス事業対象者を対象に、「一般介護予防事業」は、65歳以上の方を対象に実施しています。

1) 介護予防・生活支援サービス事業対象者数

*支援が必要だと市の介護保険課や高齢福祉課の窓口や地域包括支援センターに相談に来た者に対して、要支援認定ではなく、基本チェックリストを実施し、判定で該当した者。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
介護予防・生活支援サービス事業対象者	226人	235人	235人	222人	208人

2) 介護予防・生活支援サービス事業

○ 通所型サービス（延べ件数）

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
健康向上通所型サービス	5,132件	5,777件	6,063件	5,594件	5,938件
健康維持通所型サービス	1,298件	1,176件	1,065件	978件	816件
短期集中通所型サービス	409件	493件	408件	312件	234件

* 健康向上通所型サービス：従前の介護予防通所介護相当

健康維持通所型サービス：市独自のサービス（緩和した基準によるサービス：ミニデイ等）

短期集中通所型サービス：市独自のサービス（3～6か月間の短期集中サービス）

○ 訪問型サービス（延べ件数）

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
自立援助訪問型サービス	2,830件	2,788件	2,924件	2,784件	2,803件
家事援助訪問型サービス	217件	233件	217件	204件	184件
短期集中訪問型サービス	3件	0件	4件	8件	0件

* 自立援助訪問型サービス：従前の介護予防訪問介護相当

家事援助訪問型サービス：市独自のサービス（緩和した基準によるサービス：家事援助等）
 短期集中訪問型サービス：市独自のサービス（3～6か月間の短期集中サービス）

○ その他の生活支援サービス（配食サービス）

年 度	内 訳	配食日数	利用人数	配達食数
R2	合 計	241 日	41 人	6,198 食
	月平均	20.1 日	—	517 食
R3	合 計	242 日	49 人	7,201 食
	月平均	20.2 日	—	600 食
R4	合計	241 日	30 人	5,265 食
	月平均	20.1 日	—	439 食
R5	合計	241 日	39 人	6,185 食
	月平均	20.1 日	—	515 食
R6	合計	243 日	35 人	5,407 食
	月平均	20.3 日	—	451 食

* 70歳以上のひとり暮らし、または高齢者のみの世帯で、低栄養状態等の改善が必要な場合に、月曜日から金曜日までの夕食を配達しています。

○ 介護予防ケアマネジメント（延べ件数）

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
ケアマネジメントA	4,678 件	4,891 件	5,090 件	4,383 件	4,455 件
ケアマネジメントB	1,273 件	1,085 件	1,061 件	968 件	777 件
ケアマネジメントC	29 件	97 件	74 件	44 件	30 件

* ケアマネジメントA：原則的な介護予防ケアマネジメント

ケアマネジメントB：簡略化した介護予防ケアマネジメント

ケアマネジメントC：初回のみ介護予防ケアマネジメント

* 介護予防・生活支援サービス事業等のサービスが適切に提供できるよう、ケアプランの作成を行っています。

3) 一般介護予防事業

○ 通所型予防サービス（地域実施分含む）

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
教室数	24	32	32	36	40
参加者数（実/延）	264/2,317	453/3,252	445/4,181	496/4,610	669/6,511

* 65歳以上の生活機能低下のみられる方を対象に「運動機能維持向上をはかるコース」、「認知機能低下を予防するコース」等を実施しています。

○ シルバーリハビリ体操教室

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
教室数	11 教室	11 教室	13 教室	13 教室	13 教室
参加者数（延べ）	524 人	1,931 人	4,738 人	6,079 人	7,649 人

* 講習を受けたシルバーリハビリ体操指導士が、腹筋や腕の力・足の力など老化により衰え

やすい筋力を無理なく強化していく体操を分かりやすく講話をまじえ、実施しています。

- * 令和3年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、8～9月、2～3月は中止。
- * 令和4年度より元気アップ体操教室（2教室）がシルバーリハビリ体操教室へ移行

・シルバーリハビリ体操3級指導士の養成

県立健康プラザで実施していたシルバーリハビリ体操指導士3級養成は、令和5年度より市町村の役割となったため、ひたちなか市で実施しています。

年 度	R5	R6
修了者数	18人	18人

○ 元気アップ事業（令和3年度より健康推進課から高齢福祉課へ移管）

元気アップ体操を中心に、栄養、歯の健康、生活習慣病予防について学び、健康寿命を延ばすことを目的に実施しています。「元気アップサポーター育成コース」を修了した保健推進員等を中心に、ときめき元気塾、元気アップ体操を市内全域に広がっていきます。

・元気アップサポーター育成コース

保健推進員を対象に1コース6回（元気アップ体操理論と実技・生活習慣病予防・介護予防・栄養・歯の健康）を実施しています。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
修了者数	14人	15人	12人	0人 隔年開催	12人

・ときめき元気塾

元気アップサポーターが所属する自治会で元気アップ体操を普及し、介護予防を推進するため実施しています。高齢者が身近な場所に集まり、運動を中心に栄養や歯の健康等の介護予防の知識を得る機会となっています。また、地域の身近な人と交流することで、仲間づくりや見守りのきっかけにもなっています。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
実施自治会数	33	33	36	38	37
参加者数（延べ）	3,328人	6,407人	9,169人	9,506人	10,075人

- * コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は7～12月のみ実施。令和3年度は8～9月、2～3月は中止。
- * 令和4年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、3自治会が中止。

・地域リハビリテーション活動支援事業

ときめき元気塾及びシルバーリハビリ体操教室に理学療法士及び作業療法士の派遣を行い、専門的立場からの助言や運動指導を行い、介護予防の充実を図っています。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
実施回数	0	21	48	51	50

- * 令和2年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、中止。

○ つるかめポイント事業（令和6年度開始）

市や、市が委託し実施した介護予防事業やその事業にてボランティア活動を実施した者

に、褒賞品と交換することのできるポイントを付与することにより、介護予防の推進と地域交流を図ることを目的として実施しています。

つるポイント（対象ボランティア）のポイント到達交換者：延べ617名

かめポイント（対象の活動・教室参加）のポイント到達交換者：延べ1032名

(13) 生活管理指導短期宿泊事業

おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者で、介護保険制度において「自立」と判定され、基本的な生活習慣が欠如している方を養護老人ホームで短期間保護して日常生活に対する指導および支援を行っています。保護の期間はおおむね7日以内としています。ただし、やむを得ない事情がある時は、必要最小限の範囲で延長することができます。(表4.2-13)

年 度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
実利用人数	9人	6人	5人	13人	13人	8人
延利用日数	97日	86日	117日	323日	452日	209日

(14) 在宅ねたきり高齢者等おむつ助成

要介護3, 4, 5に該当し、在宅でおむつを必要としている者に、おむつ購入助成券（1枚1,000円、1月あたり2枚）を発行し、おむつ購入費用の一部を助成しています。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
発行人数	1,045人	462人	439人	448人	383人
延利用枚数	7,740枚	8,357枚	7,645枚	8,138枚	7,000枚

(15) 寝具洗濯乾燥消毒サービス

要介護3, 4, 5に該当し在宅で暮らす高齢者に対し、寝具洗濯乾燥消毒サービス事業利用券（年1回、3品目まで無料）を発行し、利用している寝具のクリーニング費用を助成しています。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
利用者数	110人	85人	75人	96人	72人

(16) 養護老人ホーム等

65歳以上で、家庭環境及び経済的理由により家庭で生活が困難な方を入所させる施設です。(表4.2-16)

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
入所者数	47人	43人	48人	56人	40人

(17) 高齢者等位置探索機器

徘徊のおそれのある認知症等の高齢者が安全に生活を送ることが出来るように、GPSを使った位置を探索する機器を貸出しています。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
利用者数	13人	15人	22人	24人	29人

(18) おかえりマーク

徘徊のおそれのある認知症等の高齢者が、行方不明時に早期発見及び警察で身元確認を容易にするために、登録された番号のアイロンプリントと反射材シールを交付しています。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6

交付人数	28人	31人	41人	34人	34人
------	-----	-----	-----	-----	-----

※平成29年度から令和3年度末までについては、市町村の実施体制の整備期間として、県主体により事業が行われ、令和4年度から市において事業を引き継ぎ実施しています。

(19) 老人福祉施設

1) 老人福祉センター

原則として、市内に住所を有する60歳以上の高齢者が、健康の増進、教養の向上及びレクリエーション等に利用できる施設です。

○施設利用人数

区 分		年 度				
		R2	R3	R4	R5	R6
大島荘	市内	2,466人	4,348人	6,632人	6,777人	7,190人
	市外	12人	91人	171人	141人	252人
	合計	2,478人	4,439人	6,803人	6,918人	7,442人
	一日平均	20人	21人	28人	29人	31人
高場荘	市内	1,280人	1,199人	1,719人	3,559人	4,154人
	市外	8人	24人	29人	30人	23人
	合計	1,288人	1,413人	1,748人	3,589人	4,177人
	一日平均	14人	6人	8人	15人	17人
みなと荘	市内	1,345人	802人	1,754人	2,362人	3,508人
	市外	0人	2人	0人	10人	0人
	合計	1,345人	804人	1,754人	2,372人	3,508人
	一日平均	14人	3人	7人	10人	14人
合 計	市内	8,882人	9,016人	14,588人	12,698人	14,852人
	市外	57人	121人	216人	181人	275人
	合計	8,939人	9,137人	14,804人	12,879人	15,127人
	一日平均	77人	44人	62人	54人	62人

* 新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、令和3年度はR3.8.6からR3.9.12まで臨時休館。

(20) 市毛ハーモニーセンター

もみじが丘アパートの住民及びその周囲の地域住民に相互交流及び活動の場を提供することで、コミュニティの形成を図るとともに、地域福祉の推進に寄与することを目的とした施設です。

○主催事業

区 分		年 度			
		R3	R4	R5	R6
講座数		11講座	15講座	13講座	14講座
実施回数		109回	193回	159回	151回
受講者数		1,825人	2,554人	2,305人	2,046人

(21) 高齢者生きがい対策事業

文化的教養やスポーツ等をとおして、健康かつ生きがいをもって社会活動ができるよう実

施しています。

1) 高齢者大学

区 分	R2	R3	R4	R5	R6
講義回数	0 回	2 回	5 回	4 回	5 回
修了者	0 人	54 人	42 人	41 人	98 人

* 新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、令和2年度は中止。

2) 市長杯高齢者スポーツ大会

年 度	R2	R3
参加人員	0 人	546 人

年度 地区	R4	R5	R6
一中	174 人	160 人	160 人
二中	150 人	120 人	105 人
三中	230 人	270 人	250 人
佐野中	99 人	100 人	95 人
大島・田彦中	0 人	150 人	119 人
那珂湊中	117 人	159 人	86 人
美乃浜学園	48 人	50 人	24 人
合計	818 人	1,009 人	839 人

* 新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、令和2年度は中止。

* 令和4年度以降は各地区で開催

(2 2) ワイワイふれあい館

地域住民の健康づくりや生きがいがづくり、高齢者や児童等との世代間のふれあい交流活動を提供する場として地域住民が運営するワイワイふれあい館を支援しています。

○利用実績

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
利用人数	2,041 人	2,680 人	3,430 人	3,771 人	4,238 人

* 令和5年度より、旧津田老人いこいの家へ移設。

(2 3) 地域包括ケアシステム推進事業

平成25年度より、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる地域の体制作り（地域包括ケアシステム）を推進しています。

具体的には、以下の3つの会議により双方向の連携を図りながら開催し、検討結果等をひたちなか市高齢者福祉計画推進会議（※）に報告していく構成となっています。

1) 個別支援会議（地域包括支援センター主催）

民生委員や介護サービス事業者等、多職種が協働して支援方策を検討することにより、関係者間の連携がとれた有効な支援と高齢者の課題解決機能を強化することを目的に、主に支援困難な個別ケースに対して必要に応じ開催しています。

2) 小地域ケア会議 (地域包括支援センター主催)

8か所の日常生活圏域ごと(勝田一中, 勝田二中, 勝田三中, 大島中, 田彦中, 佐野中, 那珂湊中, 美乃浜学園)に, 医療・介護・保健・福祉等の専門職による多職種協働の個別事例検討等を行うことにより, 高齢者が地域において日常生活を営むために必要な支援体制に関する検討を行います。

3) 地域ケア会議 (市主催)

地域包括支援センター, 社会福祉協議会, 市の関係各課の職員で構成し, 小地域ケア会議で提起された課題等に対して, 必要な取組の検討や関係機関の連携強化などを目的に開催しています。

* ひたちなか市高齢者福祉計画推進会議は, 医師, 学識経験者, 介護保険施設, 民生委員, 自治会等の代表者等で構成され, 高齢者福祉計画・介護保険事業計画の検討, 進行状況等の把握等のほか, 地域ケア会議等の結果報告を受け, 報告に対して出た意見などを各会議にフィードバックさせていくとともに, 高齢者福祉計画等に反映するよう努めています。

(2) 4) 認知症高齢者支援事業

1) 認知症サポーター養成講座

認知症への正しい理解の普及・啓発の取組として, 認知症を正しく理解し, 認知症高齢者等の在宅生活を温かく見守ることができる地域づくりを目的に, 「認知症サポーター養成講座」の開催を支援しています。また, 平成25年度からは「認知症キッズサポーター養成講座」を市主催で開催し, さらに平成30年度からは市内小中学校への講座普及活動を行い, 子どもから大人まで認知症サポーターの輪を広げることで, 高齢者福祉の向上を図っています。

○実施状況

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
開催回数	14回	14回	17回	23回	28回
うちキッズサポーター養成講座開催回数 (学校開催含む)	7回	1回	7回	11回	15回
サポーター養成数	639人	248人	670人	1,275人	1,477人
うちキッズサポーター養成数	523人	89人	485人	1,026人	1,213人

2) 認知症サポーターステップアップ講座 (平成28年度開始)

認知症サポーターが, さらに高度な認知症についての正しい知識を習得し, 各地域において認知症の人やその家族を支援する活動に役立てられるよう, 認知症サポーターステップアップ講座(認知症サポーター上級者養成講座)を開催しています。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
受講者数	13人	14人	21人	21人	37人

3) 認知症地域支援推進員 (平成27年度開始)

認知症になっても安心して暮らせるよう, 認知症地域支援推進員が, 認知症に関する相談や支援などに取り組んでいます。

主な業務として, 認知症の人とその家族の相談, 支援, 地域で支える仕組みづくり, 病院や介護施設, 地域にある様々な支援団体との連携推進や, 認知症の知識・理解, 普及啓発を目的とした認知症サポーター養成講座の開催などを行っています。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
相談実人数	204 人	331 人	326 人	340 人	282 人
支援件数	1,788 件	2,036 件	2,139 件	2,194 件	1,882 件

4) 認知症初期集中支援チーム（平成28年度開始）

保健師や介護福祉士等のチーム員が認知症またはその疑いのある方の自宅を訪問して、本人や家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行い、自立生活のサポートを行います。具体的には、認知症に関する情報の提供や医療機関の受診方法、介護保険サービスの利用の仕方やサービス利用による効果に関する説明等を行っています。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
支援件数	26 件	21 件	22 件	16 件	11 件

5) 認知症カフェ（オレンジカフェ）（平成28年度開始）

認知症の診断を受けサービスを利用するまでの空白の期間のケアを行うとともに、地域住民が認知症とともに暮らす基盤づくりを目的とし、認知症本人や家族、専門職等誰もが気軽に立ち寄れるカフェを開催しています。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
開催場所	9 か所	9 か所	9 か所	10 か所	10 か所
開催回数	35 回	61 回	79 回	98 回	103 回
参加者数	282 人	523 人	745 人	1,292 人	1,661 人

6) 本人ミーティング（令和4年度開始）

認知症の当事者同士が体験や希望、困り事などの思いを語り合い、楽しく共有・発信する場として開催しています。

年 度	R4	R5	R6
開催場所	1 か所	1 か所	1 か所
開催回数	7 回	12 回	11 回
参加者数	20 人	31 人	37 人

7) 認知症家族のつどい（平成28年度開始）

認知症の人の家族が集まり、介護者同士の情報交換や専門職への相談の場として開催しています。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
開催場所	2 か所	2 か所	1 か所	1 か所	1 か所
開催回数	10 回	13 回	12 回	12 回	11 回
参加者数	25 人	43 人	92 人	73 人	98 人

8) チームオレンジ (令和4年度開始)

認知症サポーターを中心とした地域住民によるメンバーが、認知症の方とその家族の悩みや生活支援ニーズを把握し、住み慣れた場所で早期から支援していく仕組みとして、主に傾聴活動、認知症の啓発、イベント企画を実施しています。

年 度	R4	R5	R6
活動回数	10回	18回	17回
参加者数	39人	61人	48人

9) 見守り・声かけ訓練 (令和4年度開始)

認知症サポーターや地域住民、関係機関を対象に、帰宅が困難になった高齢者の早期発見及び適切な関係機関に繋ぐことができるよう、認知症の理解や声かけの方法を学ぶ模擬訓練を実施しています。

年 度	R4	R5	R6
開催回数	3回	3回	3回
参加者数	100人	39人	58人

10) 成年後見支援事業

認知症、知的障害、精神障害などの理由から判断能力がない人の財産や権利を守るため、令和4年1月に市社会福祉協議会に設置された成年後見中核機関を中心として、成年後見制度の普及啓発や利用支援を実施しています。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
制度利用者数	92人	97人	109人	100人	107人

(25) 在宅医療・介護連携推進事業 (平成27年度開始)

医療と介護が必要となった高齢者が、住みなれた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供し、切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築を推進しています。

市では、医療・介護関係者等を構成員とする「在宅医療・介護連携推進協議会」、下部組織「在宅医療・介護連携推進ワーキング部会」を設置し、現状や課題の共有・整理、課題解決に向けた検討・実施を行っています。

1) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

在宅医療・介護連携を支援する相談窓口として「在宅医療・介護連携推進センター」を設置し、関係者からの相談の受付を行うとともに、退院の際の医療関係者と介護関係者の連携を支援しています。

2) 地域住民への普及啓発

在宅医療や介護、ACP (アドバンス・ケア・プランニング) に関する出前講座、講演会の開催、市報への掲載、パンフレットの作成・配布等により市民の在宅医療・介護連携の理解を促進しています。

○出前講座

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
開催回数	6回	12回	13回	13回	11回
参加人数	107人	410人	158人	352人	163人

○普及啓発イベント

令和4年度：ひたちなか市産業交流フェアにてブース出展

令和5年度：ファッションクルーズ1階メインホールにて実施

令和6年度：ワークプラザにて実施

年 度	R4	R5	R6
開催回数	1回	1回	1回
参加人数	1,400人	1,033人	460人

3) 医療・介護関係者の情報共有の支援（平成30年5月開始）

医療・介護関係者間の情報共有ツールとして導入運用している「電子@連絡帳」や「ささえ愛シート」の更なる普及・活用を図り、地域の医療・介護関係者間の効率的・効果的な情報共有を支援しています。

○電子@連絡帳登録状況

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
事業所数	202か所	218か所	254か所	284か所	309か所
関係者数	495人	565人	637人	699人	857人

4) 医療・介護関係者の研修

事業への理解と相互の理解を深め、医療・介護関係者の連携を実現するために、多職種でのグループワーク等の協働・連携に関する研修会等を開催しています。

○多職種協働のための研修会等

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
開催回数	2回	3回	4回	4回	4回
参加人数	239人	474人	265人	205人	322人

(26) 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業（令和3年度開始）

人生100年時代を見据え、高齢者一人ひとりに対して、高齢者の特性を踏まえたきめ細かな保健事業と介護予防等を実施することで、高齢者の健康増進を図り、生涯にわたり健やかに暮らし続けられるように支援しています。

○高齢者宅を訪問する個別支援（ハイリスクアプローチ）

年 度	R3	R4	R5	R6
訪問人数	637人	769人	358人	307人
訪問理由	健康状態不明者	・健康状態不明者 ・閉じこもり高齢者 ・生活習慣病等 重症化予防	・健康状態不明者 ・閉じこもり高齢者 ・糖尿病性腎症 重症化予防	・健康状態不明者 ・閉じこもり高齢者 ・糖尿病性腎症重症 化予防

○低栄養該当者への個別支援（ハイリスクアプローチ）

年 度	R3	R4	R5	R6
開催回数	20回	10回	6回	25回
参加人数	78人	49人	20人	7人

○個別健康相談（ハイリスクアプローチ）

年 度	R6
開催回数	5 回
参加人数	10 人

○通いの場等への積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ）

※通いの場：シルバーリハビリ体操教室・ときめき元気塾・元気サポート金上・高場等

年 度	R3	R4	R5	R6
開催回数	82 回	155 回	163 回	196 回
参加人数	1,248 人	2,526 人	2,304 人	2,857 人

○フレイル予防の普及・啓発活動（ポピュレーションアプローチ）

※令和3年度：ジョイフル本田・ファッションクルーズにてイベント実施

※令和4年度：ジョイフル本田・ファッションクルーズにてイベント実施

ヘルス・ケア・センター，那珂湊コミュニティセンター等でフレイル
予防教室を実施

※令和5年度：ファッションクルーズにてイベント実施

ヘルス・ケア・センター，那珂湊コミュニティセンターでフレイル
予防教室を実施

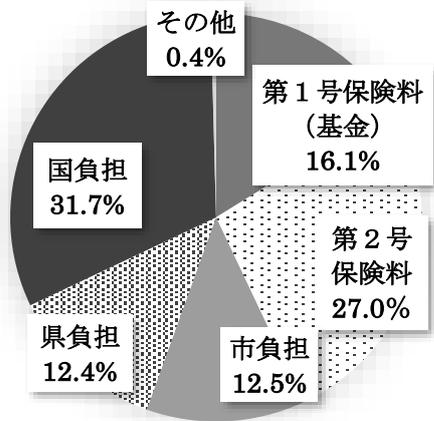
※令和6年度：ファッションクルーズ，カスミFSひたちなか笹野店にてイベント実施

ヘルス・ケア・センター，コミュニティセンター（那珂湊，佐野，市毛）
枝川転作推進センターでフレイル予防教室を実施

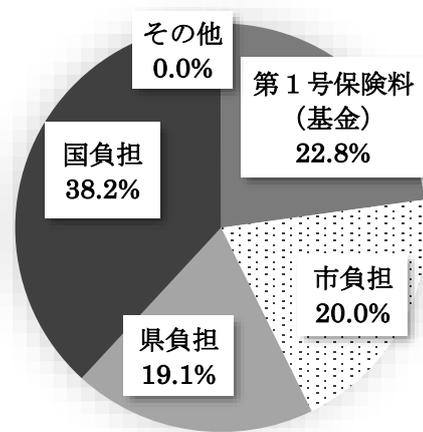
年 度	R3	R4	R5	R6
開催回数	2 回	14 回	21 回	21 回
参加人数	114 人	463 人	1,063 人	827 人

地域支援事業費の財源内訳

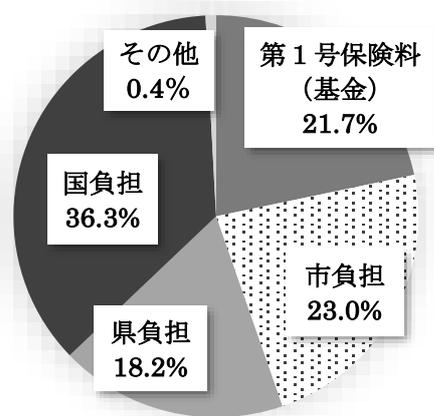
(介護予防・日常生活支援総合事業)



(包括的支援事業)



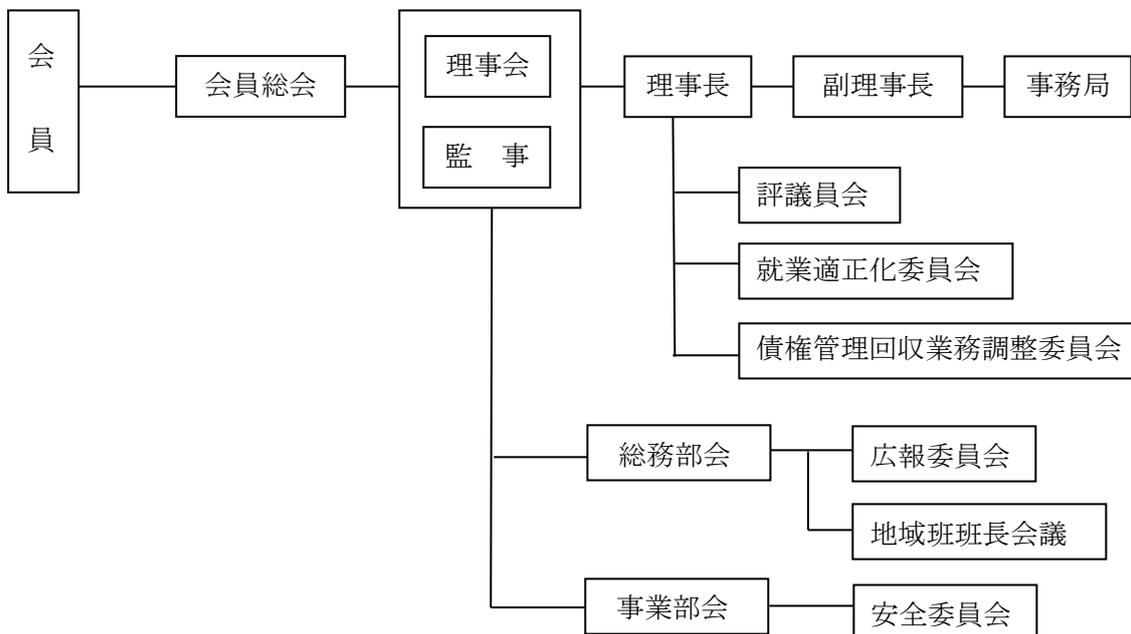
(任意事業)



※ 財源内訳は、令和6年度予算ベースの割合で掲示しています。

3. ひたちなか市シルバー人材センター

(1) 組織 [図]



(2) 事業目的及び活動

①事業目的

定年退職者等の高齢者の希望、知識及び経験に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係わる就業の機会を確保し、組織的に提供することなどにより、その能力を活かした就業その他の多様な社会参加活動を援助して、勤労意欲のある者に対する就労支援と高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与すること。

②事業活動

- 1) 臨時的かつ短期的、又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高年齢者に対する希望と能力に応じた就業機会の開拓及び提供
- 2) 高年齢者の就業に関する調査研究
- 3) 高年齢者の就業に関する相談
- 4) 高年齢者の就業に関する情報の収集及び提供
- 5) 高年齢者に対する簡易な仕事に対する知識、技能の付与を目的とした講習等の実施
- 6) 臨時的かつ短期的、又はその他の軽易な業務に係る雇用による就業を希望する高年齢者のための有料職業紹介事業の実施

(3) 仕事のしくみ

- ①会員⇒希望する仕事の登録⇒仕事の引受⇒就業⇒配分金受け取り
- ②発注者〔公共機関、企業、一般家庭等〕⇒仕事の依頼⇒契約⇒仕事の完成⇒契約金支払い
- ③センターは、会員の希望と発注者の条件が一致した時、会員に仕事を提供します。
- ④センターは、会員の就業した仕事に応じて、会員に配分金を支払います。

(4) 入会

①入会の条件

自己の労働力を活用し、臨時的かつ短期的な就業を通じて、自らの生きがいの充実や社会参加等を希望する人で、ひたちなか市に居住する60歳以上の人です。

②入会手続

毎月第2木曜日に入会説明会を開催し、第3木曜日に入会手続きを行います。いずれも午後1時30分から、勝田事務所(西大島3-16-1)において開催。所定の入会申込書に記入し、年会費3,000円(含互助会会費)を添えて申し込みます。

(5) 事業の概況

①事業実績(請負・委任)

年度 項目	R2	R3	R4	R5	R6
会員数(人)	900	900	855	867	896
就業件数(件)	3,956	3,865	3,742	3,723	3,671
契約金額(円)	317,619,096	320,396,984	265,237,655	237,159,810	236,501,370
配分金額(円)	263,217,904	261,029,754	212,731,587	188,168,261	185,254,604
就業延人員(人日)	61,432	59,383	49,599	44,173	42,757
就業実人員(人)	630	618	558	524	520

②事業実績(派遣)

年度 項目	R2	R3	R4	R5	R6
就業件数(件)	73	45	80	97	140
契約金額(円)	57,670,984	53,544,643	90,671,118	95,168,542	107,548,547
会員賃金(円)	44,406,018	41,487,559	69,731,594	73,387,602	82,640,778
就業延人員(人日)	9,952	8,744	16,273	16,618	17,853
就業実人員(人)	102	93	163	168	183

③独自(自主)事業

1) ふれあいショップ

【ふれあいショップ】を開設し、会員が作った野菜、手芸品の展示販売を平成24年10月から開始しました。

※平成29年11月1日にいきがいプラザ(田彦1351-1)へ移転しました。

年度 項目	R2	R3	R4	R5	R6
事業収入(円)	2,066,667	1,899,032	2,537,895	3,142,645	4,243,160
就業延人員(人)	159	363	411	429	450

②ひとり暮らし高齢者「小地域ネットワーク」づくり

◎ひとり暮らしの高齢者「小地域ネットワーク」活動

だれにもやってくる老後を、みんなの助け合いで豊かにして行くこと、これが「小地域ネットワーク」づくりの目的です。地域での日常的な思いやりのある活動として進めています。

○ひとり暮らし高齢者のまわりの方々に、見守りの協力員となっただき、日常生活の安全の確認や話し相手としてお力添えを願うというものです。

対象：市内の70歳以上のひとり暮らし高齢者

65歳以上の病弱者や重度の要介護者（原則要介護3以上）や、重度障がい者（障害手帳1・2級、療育手帳㊤・A）と同居しているふたり暮らし世帯

◎ひとり暮らし高齢者の小地域ネットワークづくり組織状況

	R2	R3	R4	R5	R6
組織ネット数	843	792	771	686	648